

教育センター ミニレター

広島市教育センター

index

7月号

- ◆1 ページ
 - ・研修の様子（幼稚園教育実技研修）
 - ・学校の取組紹介（楠那小学校）
 - ・今月のお勧め資料（幼稚園教育実技研修）
 - ・高等学校教科教育専門研修，特別セミナー案内
- ◆2 ページ
 - ・特別支援教育の視点から見た授業づくりのポイント
 - ・言語活動の充実シリーズ『国語科編』

7月，夏休みも目前に迫ってきました。これからの1～2週間が子どもと共に4月からの学びや成長を振り返る機会となることを願っています。教育センターでは，今月から原則毎月1回，教育実践に有益な情報を先生方にお届けする予定です。

上の写真は，6月27日に開催した「幼稚園教育実技研修」の一コマです。造形表現の指導のポイントとして，講師の藤原逸樹教授（安田女子大学）が示してくださったのは，「表現の氷山モデル」です。子どもたちが生き生きと造形表現の活動をするためには，表現に至るプロセスをしっかりと受けとめ，評価することの重要性を教師が理解しておくことが必要です。後半の実技では，コンテ，パス等による描画，画用紙，折り紙，牛乳パック，ペットボトル等の身近な材料による工作等様々な造形表現を体験しました。受講された先生方からは，「自分自身が夢中になった」「子どもが失敗や苦手という意識をもたないように活動を進める工夫をしていきたい」等の感想がありました。演習を通して，現場での実践イメージをより具体的にもつことができたようです。「今月のお勧め資料」に当日の資料を紹介していますので是非ご活用ください。その他にも楠那小学校の取組や特別支援教育の視点から見た授業づくりのポイント，言語活動の充実(国語科)の特集を組んでいます。

ことばを創造する豊かな環境づくり

楠那小学校では，学校の教育活動全体を通じて，子ども達に豊かな「ことば」を獲得させる教育活動を展開しています。例えば，校長室の前に俳句コーナーを設け，子どもの自由な創作活動を促しています。休憩時間になると，校長室前のミニテーブルに子ども達が集まり，それぞれの感性で俳句作りを楽しんでいます。また，「くすな学びのスタイル」を各クラスに掲示し，全校をあげて，自分づくりのための思考力の育成を図る取組も行っています。教育センターロビーに実物を展示していますので，お越しの際にはぜひご覧ください。

くすな学びのスタイル

自分の考えを もつ	★ 書き手のヒント ★ わたしは～だと思います。→ 意見表明 → 根拠 わたしは～だと思います。理由は～だからです。 わたしは～だと思います。～が～だからです。 わたしは～だと思います。～が～だからです。→ 反駁 ～について，2つの意見があります。ほかに～，～～です。→ ナパリン 意見が2つあります。1つ目は～，2つ目は～です。	教師の支援 意見表明，学び合いを促せる ～までに整理したことを思い出せ ～を丁寧に話したことがあるかな ～と～を順番に話さなければ もし～だったら，どうなるかな
伝え合う	★ 聞き手のヒント ★ OOさんは，どう思っているの。→ 捉える なぜ，そう思ったのかな。→ 根拠 わたしとOOさんは，同じ考えだな。 わたしとOOさんは，～が～しているな。 わたしとOOさんは，～がちがうな。 他に，～という考えもあるな。 OOさんの考えの～が分かりやすいな。 ★ 話し手のヒント ★ ～だとおもいます。 OOさんの目を見てください。 意見表明 理由があります。 その理由は，～だからです。→ 根拠 同じです。 OOさんと違って～です。 OOさんと～の～が違って～です。	意見表明，学び合いを促せる ～までに整理したことを思い出せ ～を丁寧に話したことがあるかな ～と～を順番に話さなければ もし～だったら，どうなるかな
見直す 深める	★ 書き手のヒント ★ ～と～という～が～分りました。 OOさんの考えを～，～が～分りました。 OOさんと～の～が～分りました。	意見表明，学び合いを促せる ～までに整理したことを思い出せ ～を丁寧に話したことがあるかな ～と～を順番に話さなければ もし～だったら，どうなるかな
ふり返る	★ 書き手のヒント ★ ～と～という～が～分りました。 OOさんの考えを～，～が～分りました。 OOさんと～の～が～分りました。	意見表明，学び合いを促せる ～までに整理したことを思い出せ ～を丁寧に話したことがあるかな ～と～を順番に話さなければ もし～だったら，どうなるかな

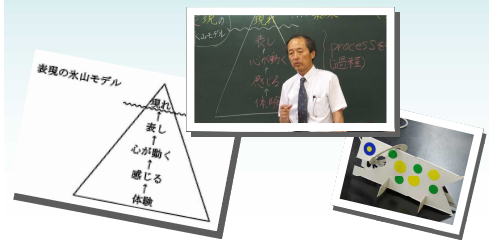


楠那小学校

今月のお勧め資料

「幼稚園教育実技研修」の講師藤原先生の資料を内部Webにupしています。表現活動のポイントがとても良く分かる資料です。小学校低学年，特別支援学級，特別支援学校にもお勧めです。

SEARCH 広島市教育センター GO



土曜開館特別セミナー

土曜開館に「ワード」の基礎研修を開講します。35名限定，まだ間に合います。

■ワード研修（基礎）

7/19（教育センター）

高等学校教科教育専門研修

7月に開設している高等学校の先生方を対象とした専門研修を紹介します。まだ追加申込み可能です。

■教科教育専門研修Ⅱ（家庭科）

「調理実習における実技の指導と評価」

7/29（美鈴が丘高等学校）

■教科教育専門研修Ⅲ（情報科）

「新学習指導要領をふまえた授業づくり」

7/30（広島工業高等学校）

連載①

「特別支援教育の視点から見た授業づくりのポイント！」

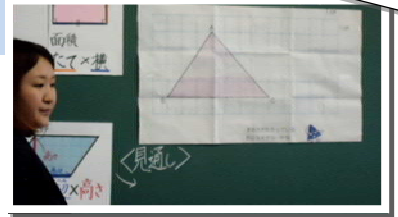
今月から4回の連載で、特別支援教育の視点から見た授業づくりのポイントについてお伝えします。第1回は、算数科の授業づくりを通した「視覚的支援」の有効性についてです。

五日市観音西小学校
教諭 宇根 由恵先生の実践より

Point 1 黒板での説明用掲示 → 課題把握を容易にします。

1

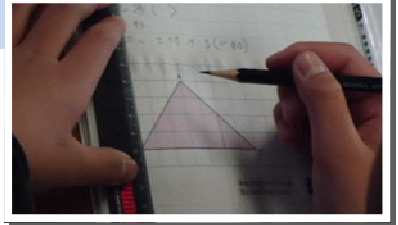
これは小学校算数科 第5学年での授業の様子です。先生は子どもに対し、説明用に大型の掲示物を作成しています。解決するためのめあてを明確にもたせるためには、児童の視線を集中させることが効果的です。



Point 2 児童のノートに貼り付けるための図 → 思考を活性化させます。

2

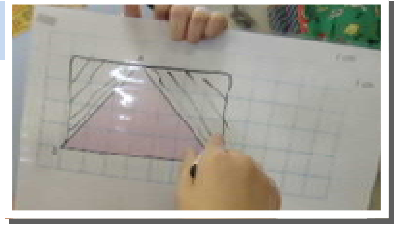
めあてを解決するために個人で考える時間が設定されていました。この際、黒板と同じ三角形の図が、ノートに貼り付けられるように用意されており、それによって、児童が見通しをもって解決に向かうことができていました。



Point 3 グループや全体で発表するための手持ちの図 → 表現力を育成します。

3

個人で考えた後は、班での交流と全体発表の時間です。このとき、何度も書きこみができる透明シートを活用していました。他の児童に図を示して、書き込みながら説明ができるので、思考の流れに沿って説明することができました。

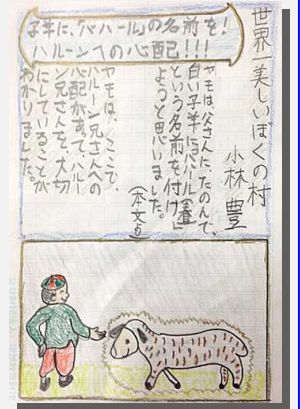


「言語活動の充実」シリーズ

「単元を貫く言語活動」で子どもたちの主体的な学びを!

どちらを選ぶ?

国語科編



彩が丘小学校
教諭 白石 友香先生の実践より

A	一次	二次	三次	B	一次	二次	三次
	・全文を通読し感想を書く。 ・学習の見通しをもつ。	・登場人物の気持ちを考えながら内容を読み取る。	・二次での読みを生かしてポップを作る。		・ポップを作るとい課題を知る。 ・学習の見通しをもつ。	・教科書教材を使ってテーマについての自分の考え等を書いたポップを作る。	・二次で付けた力を生かして他の作品でポップを作る。

単元を貫くとは?

メリットは何か?

< B案 > が表題にある「単元を貫く言語活動」で構成した単元計画です。一次から三次までが、単元を通じた課題解決の学習過程となっている点が大きなポイントです。単元末にどのような言語活動を展開するかという最終ゴールを最初にイメージし、次に、一次に目的意識をもたせる、二次に教科書を使って、ポップを作る際に必要な基本的な事項を学ばせるという構成を図っています。このような単元計画の設計方法を「逆向き設計」といいます。

- (1) 子どもたちが単元のゴールをイメージできるため、主体的な読みとなり学習意欲が高まります。
- (2) 何のために教科書の文章を読んでいるかという目的意識が明確になります。
- (3) 教科書教材を学ぶことが目的ではなく、オリジナルポップを作成することを通して、指導内容を確実に身に付けさせることができます。

国語の能力は、子ども自身が実際に言語を使いながら身に付けていくものです。教育センターには実践事例を紹介した図書資料を多く配架していますので、それらを参考にし、子どもたちが主体的に学ぶ単元づくりにぜひ挑戦してください。